



学校だより ナントツ 9月号

学校教育目標「共に学び たくましく生きる 心豊かなナントツの子」

横浜市立南戸塚小学校

令和2年9月15日

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/minamitotsuka/>



「子どもたちの1年」

学校長 後藤 直樹

夏休みが明けてちょうどひと月が過ぎました。8月のお盆直後の授業開始1週間、本校職員も誰一人この時期に授業を行った経験はありません。きっと子どもたちは短かった夏休みに未練を残しながらのスタートなので、気持ちにもなかなか身が入らず、暑さの中、だらっと時間が流れるのでは・・・それも仕方ないと思っていました。しかしその予想は見事に外れました。その週の金曜日、中庭の日陰では3年生が戸塚消防署の消防車を取り囲み、熱心に消防士の話に聞き入っていました。同じ時間、校庭のくすのきの下では1年生が、今年は水泳が中止となったので、水着への着替え練習も兼ねた生活科の水遊び。「学校が戻ってきた！」最高気温が35℃という記録的な猛暑の中での一場面ですが、コロナ禍、心の中でずっともやもやとし続けていたものが、少し消えた気がしました。

今後、感染防止を目的として導入されたこの新しい生活様式が転機となり、社会にも学校にも今まで以上にITが急速に普及していくことが予想されます。学習活動にITを積極的に取り入れながらも、常に実体験（経験）とのバランスは大切にしていかなければならないと考えます。以前ご紹介したアクティブラーニング「学びのピラミッド」の中でも、講義（座学）で得た知識は、時間の経過とともに消えていきますが、体験から得た知識は生涯残り続けるとされていました。子どもたちの成長の中で、体験に空白の1年をつくってはならない。改めてそう思いました。子どもたちの1年間は、私たち大人の感じる365日とは長さも密度も違うのですから。今年度の後半も常に自分にそう言い聞かせながら日々の学校運営を進めてまいります。保護者、地域の皆様には改めてご理解とご協力をお願いいたします。



3年生 中庭で消防の学習



1年生 木かげでの水遊び

1年生 生活「なつだ とびだそう」



生活科の学習「なつだ とびだそう」で、水遊びやシャボン玉遊びをしました。水遊びでは、友達と水をかけあいながら、暑い日に水遊びをする気持ちよさを感じていました。

シャボン玉遊びでは、より大きいものを作ろうと挑戦したり、飛んでいくシャボン玉を見て、風の流れの変化を感じたりしながら、夏を思いきり楽しみました。

2年生 図工「うつつて 見つけて」

版を使って絵を描く、“かた紙版画”の学習をしました。思い思いの絵を透明シートに写し、丁寧に切り抜いて版を作ります。出来上がった2種類の版を使い、ローラーを転がしながら形をかさねていきました。

手や顔をインクでよごしながらも、その分、それぞれが工夫をかさねた素敵な作品を仕上げました。



3年生 理科「風とゴムの力とはたらき」



7月までは動植物の観察が中心だった理科ですが、夏休み明けからは、風とゴムの力で動く車を使った、実験中心の学習も始まりました。

子どもたちは実験を通して、風の強弱やゴムを引く長さ、ゴムの本数によって車が進む距離が変わることを実感していました。

単元の最後には学んだことを生かして、車を遠くへ進めるにはどのように改良すればよいか考え、競争を楽しむ姿も見られました。

4年生 社会「地震にそなえるまちづくり」

自然災害から地域の安全を守るために、どのような活動があるのかを学習しました。南戸塚小学校は地域の防災拠点になっていると知り、防災備蓄庫に入っているものを調べに行きました。「非常用のパンがたくさんあるね。」「毛布もあったよ。」実際に見ることで、たくさんの発見がありました。

5年生 西湖宿泊体験学習に向けて

スローガンは、「自然の教科書から学べる楽しさを感じ、最高（さいこ）の思い出を作ろう。」です。9月中旬の宿泊体験学習に向けて、実行委員を中心に準備を始めています。「部屋が楽しみだなあ」「カヌー早く乗りたい!」と、子どもたちの中で楽しい気持ちが日に日に膨らんできているのをひしひしと感じています。

今年だからこそその体験学習を作り上げ、全員にとって最高の思い出になるように、協力して準備を進めていきます。



6年生 蚕と一緒に成長中

9月25～26日の片品体験修学旅行では富岡製糸場の見学を予定しています。そこで、生糸は何からできているかを知るために実際に蚕を育てることにしました。

育て方を調べたり、通学路で桑の葉を探したりと、自ら進んで学ぶ姿が見られます。

「はじめは虫が苦手なので不安だったけど、だんだん蚕に愛着が湧いてきて、今では手のひらにのせて観察するのが楽しい。」と話していました。



5組 たくさん収穫したよ!

今年は野菜を植える時期が休校期間中だったため、残念ながらみんなで土づくりや苗植えはできませんでしたが、そのかわり、草取りや水やりをがんばりました。野菜たちはすくすく成長しナスやトマト、キュウリがたくさん穫れました。野菜が苦手な子も多いですが、家庭に持って帰って料理してもらい、「一口チャレンジできた!」との報告にうれしくなりました。



ナントツほとハートルーム（教育相談）

10月の予定は次の通りです。相談を希望される方は、副校長または酒井（児童支援専任）までご連絡ください。（南戸塚小学校 TEL881-8669）

☆10月13日（火） 9：30～16：10

☆10月27日（火） 9：30～16：10

その他、一般教育相談窓口として教育総合相談センターの「一般教育相談」もご利用ください。（TEL671-3726）

日	曜	10月 学校行事	授業時数・下校時刻								
			1年	2年	3年	4年	5年	6年			
1	木	歯科検診(3・4年)	5時間 14:10			6時間 14:55下校					
2	金	避難訓練・煙体験(6年)		5時間 14:10下校			6時間 14:55下校				
3	土	新沢幼稚園運動会									
4	日										
5	月	朝会(TV)	教育実習開始(10月30日まで)			5時間 14:10下校					
6	火	尿検査(二次)	目の愛護週間			5時間 14:10下校			6時間 14:55下校		
7	水					5時間 13:50下校			6時間 14:30下校		
8	木	歯科検診(5・6年)				5時間 14:10			6時間 14:55下校		
9	金	前期終業式 * 給食後、13:00下校 色覚検査(4年)				4時間 13:00下校					
10	土										
11	日										
12	月	後期始業式 * 給食後、13:20下校	4時間 13:20下校								
13	火	ナントツほっとハートルーム(教育相談9:30~16:10)	5時間 14:30下校			6時間 15:20下校					
14	水	代表委員会	5時間 14:10下校			6時間 14:50下校					
15	木	たてわり活動	5時間 14:30			6時間 15:20下校					
16	金		5時間 14:30下校			6時間 15:20下校					
17	土										
18	日										
19	月	音楽朝会(TV)	区巡回書写展			5時間 14:30下校					
20	火	本読み会 クラブ活動				5時間 14:30下校			6時間 15:35下校		
21	水					5時間 14:10下校			6時間 14:50下校		
22	木					5時間 14:30			6時間 15:20下校		
23	金					5時間 14:30下校			6時間 15:20下校		
24	土										
25	日										
26	月	朝会(TV) 心臓検査(1年)	5時間 14:30下校								
27	火	委員会活動 ナントツほっとハートルーム(教育相談9:30~16:10)	5時間 14:30下校			6時間 15:20下校					
28	水		5時間 14:10下校			6時間 14:50下校					
29	木		5時間 14:30			6時間 15:20下校					
30	金	運動会前日準備 * 給食後、13:15下校(1~5年) 14:10下校(6年)	教育実習終了			4時間 13:15下校		5校時 14:10			
31	土	ナントツオリンピック2020 * 給食後、13:20下校 11月2日(月)運動会代休	4時間 13:20下校								

* 予定につき、変更となる場合もあります

後期の日課表について

今年度前期は6月からの分散登校に始まり、夏休みの短縮等、様々な感染症予防策を講じながら授業時数を確保してまいりました。後期より下校時刻を従来の日課表に準ずる形に戻してまいりますが、授業の単位時間は前期同様40分を継続いたします。特に低学年の児童については、常にマスクを着用し、正面を向く形での授業が多いという状況が大きなストレスとなっていることは、容易に察することが出来ます。休み時間を増やすことにより、うがい・手洗いや着替え・教室の移動などの時間にも余裕をもたせたいと考えております。詳しくは改めて配布する日課表をご確認ください。

注意喚起(オンラインゲーム)

新聞報道等によれば、市内において、オンラインゲームで知り合ったと思われる成人男性に児童が連れ去られる事案が発生しました。

子どもの感覚では現実世界と仮想世界の区別がつきにくく、オンラインゲーム等を通じて親しくなったような錯覚から見知らぬ相手に気を許してしまったり、実際に会ってしまうことで事件に巻き込まれてしまったりする等の危険性があります。

お子様の安全を第一に、携帯ゲーム機やスマートフォン等の使用目的やフィルタリング、アプリのインストール等の機能制限などについて、話し合いやご家庭でのルールづくりをしていただければと思います。